

アマビエプロジェクト

以前『しあわせ』でもお伝えしたアマビエプロジェクト。コロナ禍でも一緒に何か出来ないかと、疫病退散にご利益がある妖怪アマビエの作成を、青葉園・ふれぼのと交流がある方や地域の方との手紙のやり取りを通じて続けてきました。6月からスタートしたプロジェクトが10月30日に完成式を迎えました。今回はその模様をご報告します。

まずは本体を作っていきます

今回皆さんから届いたハガキは最終的になんと350枚以上に。このたくさん思いが詰まったハガキをウロコ型に切り取ってアマビエ本体にしていきました。青葉園とふれぼのでパーツごとに作業し、1枚1枚届いたウロコのメッセージを読み上げながら確認し、貼っていきます。そうするとアマビエの体の部分が徐々に形になってきます。体が出来てくると次に行うのはアマビエの顔作り。今回大事なアマビエの顔を担当したのは青葉園のオリーブグループ。グループみんなで表情やパーツの色を相談しながら形にしていきました。そして出来上がった顔と体を合わせていくと、予想していなかったことが判明しました。その大きさ、なんと3m以上。当初、体の大きさは集まったウロコで決める予定でしたが、本当に嬉しい誤算でたくさんのウロコが届きアマビエは予想以上の大きさになっていきました。



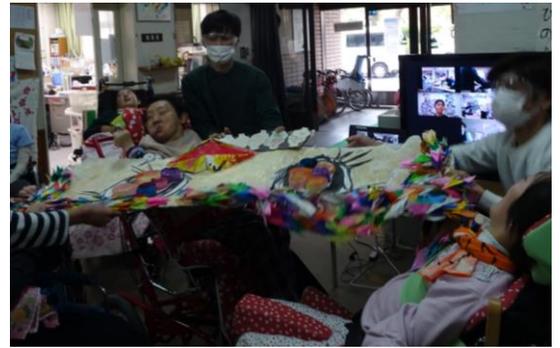
いよいよ完成式！！

そして迎えた10月30日、完成式。アマビエの魂を込める目を入れて仕上げました。



当日は、青葉園・ふれぼのとオンラインで中継しながら、それぞれの作業の様子を伝え、目を描く筆をリレーして送っていきました。スタートはふれぼの。ふれぼのからひのきグループへ渡された筆は、ひのきグループの部屋でみんなの思いでアマビエに負けない巨大な筆に変身。次にオリーブグループに渡りました。オリーブグループはその筆で目を描き作ってきた顔を完成。アマビエの体のある青葉園の玄関で待機するかりんグループに渡します。最後にかりんグループは、受け取ったアマビエの顔と体を合わせました。

6月からスタートしたアマビエプロジェクト、みんなに見守られながらついに完成しました。



編集後記：

新型コロナウイルスの影響により通所日や活動内容が大きく制限される中、これまで関わってきた方々と、時間・場所の共有が難しくても気持ちでつながっていったら…。そんなことを考えながら始めたアマビエ作りでした。失敗もありましたが、たくさんの方からのメッセージが届きそれを読むたびに、青葉園・ふれぼのそして本人さんの繋がりを感じ、背中を押され完成に至りました。

これからは、いただいた力を皆さんへ還元していきながら、私達の新たな力にしていきたいと思います。アマビエも市内の各所で展示予定です。みなさんと会える日を楽しみにしています。ありがとうございました。

(アマビエプロジェクト：山本^副)